

社説

政局の變化

今日進歩黨分崩云々より大隈の辭職を爲り文部大臣商務大臣を見て或は選信の地位も日ならず更迭す可しと云ふ政局の一變化にして政府の容子も自から従来の趣を改めたるが如し或は此有様を見て純薩内閣なるの名を下さるものなきに非ざれば今後の政界には自から藩閥攻撃の聲を聞くもならん即ち大隈の去りたると同時に政府に入りたるものは藩閥臭味の盡にして純薩の名も薩人と云ひ長人と云ひ等しく日本人にして今の政府に薩人臭味の多きは前内閣の時に自から長州藩閥のもの多かりしと同様、特に怪しむに足らず所謂藩閥出身の長老を以て政府を組織するは年來の事實にして今日まで經過し來りたるもなれば一人の大隈が在るも在らざるも政府の全體に差したる變化はあはる可らず我輩は此點に於ては一切懸念せず苟も文明の政を行ふの覺悟あらんには文明の政友として之を認むるのみ左れば藩閥云々の攻撃は敢て掛念するに足らずとして現實際に目下の政局は内外共に多事多難にして當局者の責任甚だ容易ならず世間一般の情に於ては伊藤大隈の如き鬼に角に第一流の政客と認められたる其人物の協同一致を望むるも甚だ切なる此場合に大隈は事を行換りより辭職の止むを得ざるに至りし次第なれば今の當局者たるものは大に奮發して一般の希望を空うせざるの覺悟なきは可らず思ふに今回政局の變化に就て二三の地位に更迭を行ひたるは政府の基礎を固くして立派に建て見せんとすの決心ならん其決心甚だ可なり目下の政局に當るものは自から是種の自信なきを得ず我輩の願はくは思ふ所なれば人事の不如意は世の常態にして一時の勇氣に乘じ事を見く見て進み進むときは實際の場合に組織の概念なきを得ず充分に自信の決心を著へながら大に注意して進歩黨を期すると肝要なる可し聞かざれば政府は既に増税の議を決し議會に提出の覺悟にて進歩黨の分崩、大隈の辭職も事の原因を尋れば此問題の爲めなりと云へば提出の議には必ず反對論を見るもならん抑も増税の一事は目下の實際に止を得ざるの決断にして何人の考にても此外に工風はなかる可し或は後の始末を顧みずして姑息の計に出でんには自から一時進歩黨の策謀もあらんれども斯くの如きは苟も責任を知るものも爲す可き所に非ず今の當局者が自から責任を重んじて自から決断したる其勇氣は甚だ稱す可し我輩は只實際に其目的を達せんとするのみ或は議會の多數にしていよく反對とあらば解散を期しても可く大隈も目的を達せざる可らずとの説なきもあらざらん進歩黨に由りては解散の計は可らざる場合もあらざらんれども解散は最後の一手段にして進歩黨に言ふ可らず巧に議會の多數を制して無事に目的を達するも政治家の伎倆なれば即ち其手段は我輩の筆を動かしたる如く部内の改革を行ふて一般人をして進歩黨の止むを得ざる大策を了解せしむるは勿論進歩黨の同時進歩黨の改革を改正し又地方税などの中にて進歩黨の税目も削減停止して地方の進歩黨も止むを得ざる、大に人望を奪むるの手段を行

ひ又一方には陰謀裏に議員を操縦して鬼に角に多數を割するの工風を逞らす可し當局者に自信の固きものを存して充分に覺悟を極めながらあらゆる手段を盡して大に天下の人望を奪むるときは議會内外の人々も自から同情を表して實際に目的を達するも敢て進歩黨に非ず我輩の手素より警告したる所なれば今回の變局に際し更に一言して注意を促すものなり

電報

海獸獵保護條約の調印

倫敦十一月八日電

日本、露西亞及び米國は海獸獵保護條約に調印した

露國と暹羅

露國は暹羅から暹羅の首府バンコックに公使館を置き外交官を派せんとす

希土媾和條約

同 上

小松宮殿下

京十一月九日午後特報

山縣侯

京十一月九日午後特報

菊池知事

山形十一月九日午後特報

團山代議士

松江十一月九日午後特報

櫻井要塞司令官

馬場十一月八日午後特報

土方鹿兒嶋縣警部長

松江十一月八日午後特報

江藤代議士

北見十一月八日午後特報

慶應義塾出身茶話會

京十一月八日午後特報

紡績業者の相談會

大正十一月九日午後特報

るものとして其價格を上げせしめ最も安きものを賣出し市價と其入札價格との差を獎勵金として團體より交付する事、并に實施期は本月廿日午後とし尙ほ他の會社へも此方法を及ぼさんとの懸念を可決せり

○廣島の出火 昨夜市内廣島町地場所柄故一時は煙

○海獸獵保護條約の調印 日露米三國委員の間

○日嶼新 日嶼新條約の締結

○海軍將 海軍將官會議は豫

○昨日の閣議 閣議は各省大臣内

